



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ホギメディカル
コード番号 3593 URL <http://www.hogy.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部 部長
四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日

(氏名) 保木 潤一

(氏名) 大橋 進

配当支払開始予定日

TEL 03-6229-1300

平成26年8月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	8,398	0.3	2,007	△4.4	2,016	△8.1	1,317	△4.2
26年3月期第1四半期	8,371	4.1	2,099	4.0	2,194	8.7	1,375	8.8

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1,121百万円 (△39.9%) 26年3月期第1四半期 1,865百万円 (25.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	83.78	—
26年3月期第1四半期	87.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	89,660	76,076	84.8	4,836.24
26年3月期	90,411	75,379	83.4	4,791.96

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 76,069百万円 26年3月期 75,373百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	27.00	27.00	27.00	27.00	108.00
27年3月期	28.00				
27年3月期(予想)		28.00	28.00	28.00	112.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,160	6.5	4,560	5.6	4,600	3.0	3,010	7.4	191.36
通期	36,950	6.2	9,290	6.2	9,410	3.9	6,150	9.2	390.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	16,341,155 株	26年3月期	16,341,155 株
27年3月期1Q	612,029 株	26年3月期	612,011 株
27年3月期1Q	15,729,140 株	26年3月期1Q	15,729,526 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、全体としては消費税率引き上げに伴う反動の影響を受けましたが、先行きとしては改善していく見通しにあります。

医療行政におきましては、社会保障・税の一体改革で描かれた2025年の医療・介護の将来像の実現に向けて、診療報酬改定が実施され医療機関に対しては機能分化を強化した医療制度改革を進めております。

当医療機器業界における経営環境は、この政策の実施に伴い医療機関の二極化が進み、変化する医療環境に対応するため経営の合理化がより求められる状況となっております。

このような環境の下、当企業集団では、製品・物流・情報管理からなる「オペラマスター」の販売強化とキット製品の販売拡大に注力してまいりました。

「オペラマスター」の契約状況は、医療機関の経営改善に対する提案を強化し、「オペラマスター」への理解の促進を図った結果、キット製品未採用の医療機関を中心に新規契約10件を獲得いたしました。一方、解約は1件で、累計契約件数は217件となりました。また、手術室運営の効率化と医療機関の経営改善に貢献する「手術管理システム」の販売強化に取り組んできた結果、医療機関と契約を締結することができました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,398百万円（前年同期比0.3%増）となりました。キット製品の売上高は、「オペラマスター」の売上が伸長しましたが、消費税率引上げに伴う反動と手術件数の伸びの鈍化の影響を受けました。また、契約医療機関の立上げが一部第2四半期以降にずれたこともあり4,425百万円（同3.6%増）となりました。不織布製品の売上高は、2,473百万円（同3.8%減）となりました。なお、一時的な要因は6月後半には解消され、通常の売上高に戻っております。

売上原価は、為替変動に伴う影響により原価率が若干上昇いたしました。販売費及び一般管理費は、営業に関わる費用が増加したことにより増加いたしました。この結果、営業利益は2,007百万円（同4.4%減）となりました。経常利益は、為替変動に伴う影響により2,016百万円（同8.1%減）となりました。四半期純利益は、法人税軽減により1,317百万円（同4.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は89,660百万円となり、前連結会計年度末に比べ750百万円減少いたしました。流動資産は46,889百万円となり、541百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金の減少569百万円となります。固定資産は42,771百万円となり208百万円減少いたしました。うち有形固定資産は32,610百万円となり339百万円減少いたしました。無形固定資産は1,961百万円となり146百万円増加し、投資その他の資産は8,199百万円となり大きな変動はありませんでした。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は13,584百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,446百万円減少いたしました。流動負債は11,771百万円となり1,458百万円減少いたしました。主な要因は、未払法人税等の減少1,218百万円、支払手形及び買掛金の減少617百万円となります。固定負債は1,812百万円となり大きな変動はありませんでした。

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部は76,076百万円となり、前連結会計年度末に比べ696百万円増加いたしました。主な要因は、当四半期純利益1,317百万円の計上による増加、剰余金の配当による424百万円の減少となっております。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の83.4%から84.8%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより27,653百万円となり、前連結会計年度末に比べ574百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を2,012百万円、減価償却費を627百万円計上し、売上債権の増加278百万円、たな卸資産の減少226百万円、仕入債務の減少601百万円、法人税等の支払1,885百万円がありました。この結果、キャッシュ・フローは583百万円となり、前年同期に比べ553百万円減少いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出 369 百万円等により 695 百万円の支出となり、前年同期に比べ 331 百万円支出が増加いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等がありました。この結果、424 百万円の支出となり、前年同期に比べ 15 百万円支出が増加いたしました。

通期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、約 8,900 百万円の増加を予想しております。投資活動によるキャッシュ・フローは、新キット工場建築等により約 6,200 百万円の支出及び新キット工場機械部分の支出が一部見込まれます。財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払いにより約 1,750 百万円の支出を見込んでおります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の医療環境は、医療制度改革により大きく変化しつつあり、医療機関においては経営改善への取り組みがより進んでいくと予想されます。

当企業集団におきましては、「オペラマスター」「手術管理システム」および手術室スタッフの業務と教育を支援する新製品「手術手順書システム」の販売拡大を継続してまいります。

また、契約医療機関への人材の集中化により、立上げの早期化と立上げ時のキット内容充実化の両方を支援する体制を強化してまいります。

さらに、顧客のメリットを最大限追求したキット製品の実現をするために、新キット工場建設と内製化を進めてまいります。生産の自動化と内製化により安全性と将来の利益改善が図れるキット製品のリニューアル戦略を進めてまいります。新キット工場の設備投資計画につきましては、確定次第開示する予定です。

研究開発といたしましては、今後の日本における高齢化、人口減少、医療技術の進歩などを勘案し、「医療の現場に役立つ製品」をコンセプトに「医療安全」、「低侵襲」、「病院経営」、「在宅・介護・予防」の分野を中心に製品開発を進めてまいります。「低侵襲」分野の新製品として、当期に「内視鏡操作システム」の取扱いを開始する予定です。「内視鏡操作システム」に関しましては、本日、新製品取扱いのお知らせを開示いたしました。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想は以下のとおりであります。

(連結業績予想)

売 上 高	36,950 百万円	(前期比 6.2%増)
営 業 利 益	9,290 百万円	(前期比 6.2%増)
経 常 利 益	9,410 百万円	(前期比 3.9%増)
当 期 純 利 益	6,150 百万円	(前期比 9.2%増)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等の計上基準

法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,595	28,025
受取手形及び売掛金	10,191	10,456
商品及び製品	3,845	3,970
仕掛品	429	414
原材料及び貯蔵品	3,485	3,096
その他	892	931
貸倒引当金	△9	△5
流動資産合計	47,431	46,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,612	11,416
機械装置及び運搬具（純額）	4,808	4,585
土地	9,484	9,475
建設仮勘定	6,551	6,539
その他（純額）	492	593
有形固定資産合計	32,949	32,610
無形固定資産	1,814	1,961
投資その他の資産	8,215	8,199
固定資産合計	42,979	42,771
資産合計	90,411	89,660

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,598	3,981
未払法人税等	1,914	695
引当金	489	161
その他	6,227	6,932
流動負債合計	13,230	11,771
固定負債		
退職給付に係る負債	210	163
その他	1,590	1,649
固定負債合計	1,801	1,812
負債合計	15,031	13,584
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,123	7,123
資本剰余金	8,336	8,336
利益剰余金	60,422	61,315
自己株式	△3,321	△3,321
株主資本合計	72,560	73,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,297	2,386
繰延ヘッジ損益	529	368
為替換算調整勘定	27	△98
退職給付に係る調整累計額	△41	△39
その他の包括利益累計額合計	2,813	2,616
少数株主持分	6	6
純資産合計	75,379	76,076
負債純資産合計	90,411	89,660

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	8,371	8,398
売上原価	4,122	4,179
売上総利益	4,249	4,218
販売費及び一般管理費	2,149	2,210
営業利益	2,099	2,007
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	23	20
為替差益	48	—
その他	23	13
営業外収益合計	95	34
営業外費用		
投資事業組合運用損	—	4
為替差損	—	21
その他	0	1
営業外費用合計	0	26
経常利益	2,194	2,016
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃棄損	0	4
特別損失合計	0	4
税金等調整前四半期純利益	2,195	2,012
法人税等	819	694
少数株主損益調整前四半期純利益	1,375	1,317
少数株主利益	0	0
四半期純利益	1,375	1,317

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,375	1,317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62	88
繰延ヘッジ損益	186	△160
為替換算調整勘定	364	△126
退職給付に係る調整額	—	1
その他の包括利益合計	489	△196
四半期包括利益	1,865	1,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,865	1,121
少数株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,195	2,012
減価償却費	687	627
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4	△4
受取利息及び受取配当金	△24	△21
投資事業組合運用損益 (△は益)	—	4
為替差損益 (△は益)	△51	17
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△270	△278
たな卸資産の増減額 (△は増加)	19	226
仕入債務の増減額 (△は減少)	△488	△601
その他	302	465
小計	2,375	2,447
利息及び配当金の受取額	24	21
法人税等の支払額	△1,262	△1,885
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,137	583
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△299	△369
有形固定資産の売却による収入	1	2
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	1	1
その他	△67	△329
投資活動によるキャッシュ・フロー	△364	△695
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の売却による収入	—	0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△408	△424
財務活動によるキャッシュ・フロー	△409	△424
現金及び現金同等物に係る換算差額	96	△36
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	460	△574
現金及び現金同等物の期首残高	22,105	28,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,566	27,653

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社及び連結子会社の事業は、医療用消耗品等の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。